

研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム
プロジェクト推進型 SBIR フェーズ1 支援
2021 年度事後評価結果

グラント番号	JPMJST2162
研究開発課題名	未利用水産資源を有効活用する次世代抗体作製技術のフィージビリティスタディ
研究代表者	愛媛大学 プロテオサイエンスセンター 准教授 竹田 浩之

総合評価

ビジネスモデルの再検討を行うなど技術及びビジネスの両面からの検討により課題抽出が行われ、チームアップについても着実に行われつつあることは評価できる。残されている技術課題の解消についてもマイルストーンの明確化と達成による価値の向上が期待できる。

医薬品メーカーと抗体の安定性、結合性検証などについて共同研究を進められる段階にきており、技術の独自性が高く期待できる。医薬品メーカーへの抗体提供ビジネスであり、農林水産分野と医薬分野の異分野間の取り組みとなるため、今後の進め方について十分な検討が必要である。

以上